

樋の口浄水場等建設事業

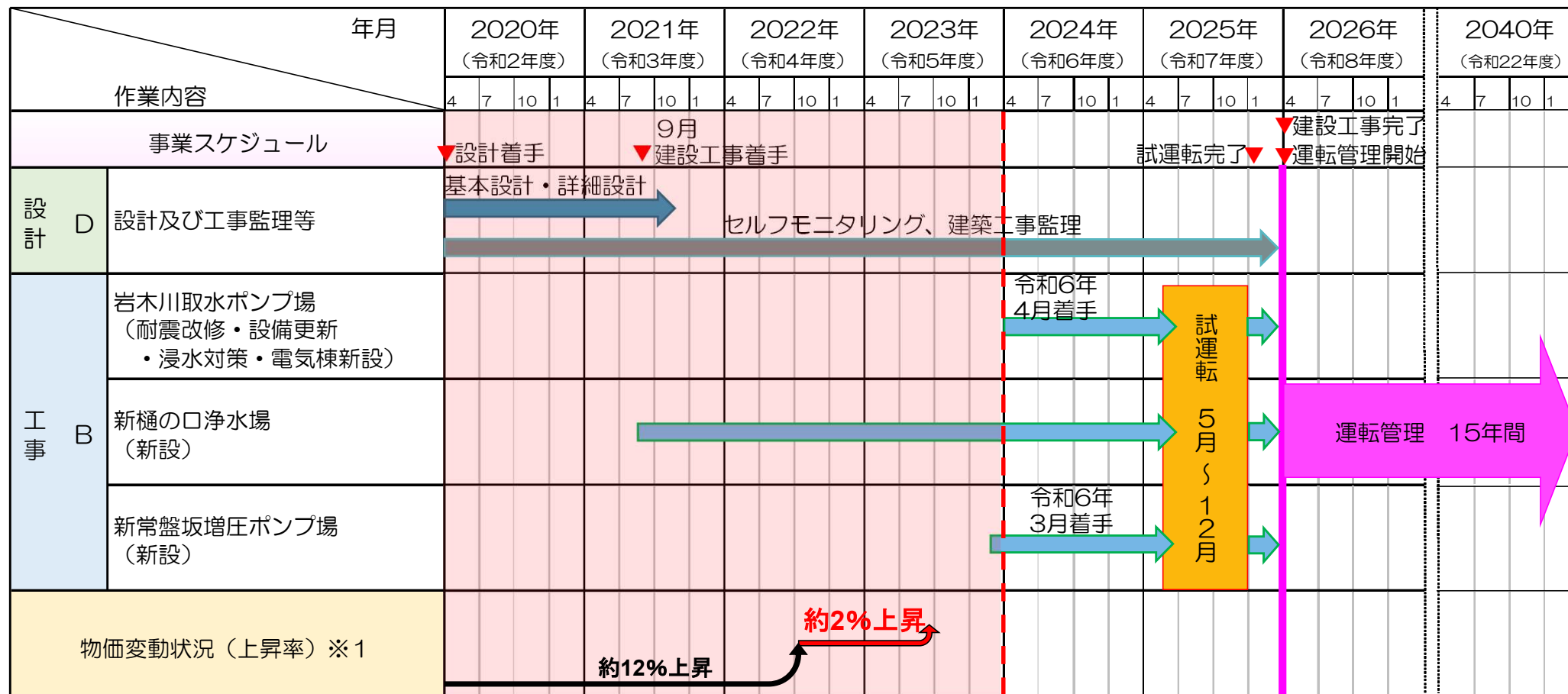
# 物価変動に伴う契約額の増額変更と 進捗について



弘前市上下水道部工務課

# 現在の状況

2024年3月時点



R2.3.25  
契約

R4.10.3スライド 請求

R5.3.16スライド 変更契約(約9.9億増)

R5.9.1 第2回スライド 請求(※2)

R6.3.1 第2回スライド 変更契約(約3.2億増)

※1 上昇率の根拠

国土交通省が毎月公表している、建設工事にかかる費用の相場を示す指標である「建設工事費デフレーター」により算出。

※2 スライド請求とは

契約書第34条、物価の変動等に対応する請負工事額の変更(いわゆるスライド条項)に基づき、受注者より請負代金額の変更請求(スライド請求)を行うこと。

# スライドの種類

※設計及び建設工事請負契約書第34条（賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更）

賃金水準又は物価水準の変動により請負代金額が不相当となったと認めたときは、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

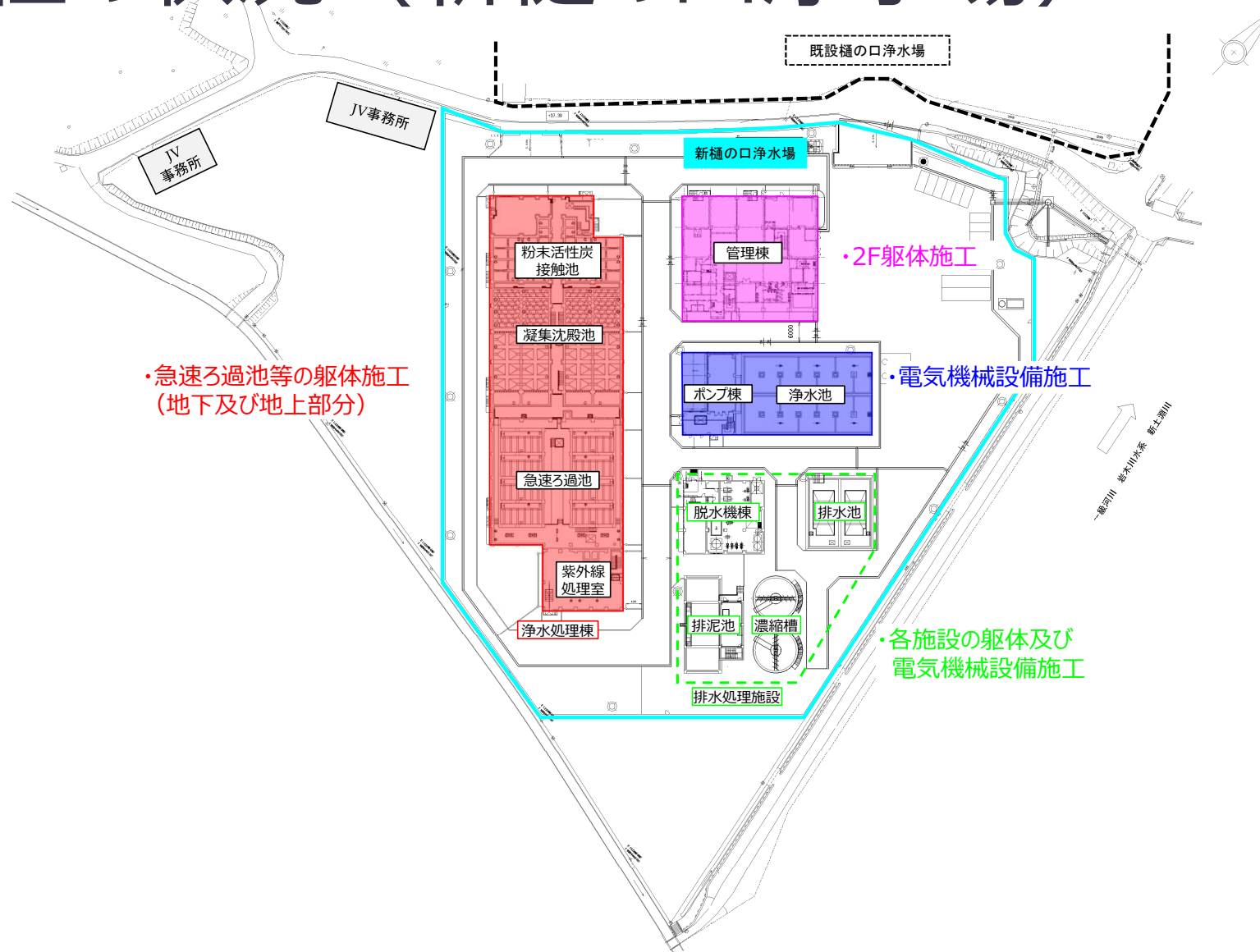
項目		全体スライド	インフレスライド	単品スライド
適用対象工事		<b>工期が12ヶ月を超える工事</b> 但し、基準日以降、残工期が2ヶ月以上ある工事（ <b>比較的大規模な長期工事</b> ）	<b>すべての工事</b> 但し、基準日以降、残工期が2ヶ月以上ある工事（運用通達発出日時点で継続中の工事及び新規契約工事）	<b>すべての工事</b> （運用通達発出日時点で継続中の工事及び新規契約工事）
請負額変更の方法	対象	請負契約締結の日から12ヶ月経過した基準日以降の残工事量に対する資材、労務単価等	本通達に基づき、賃金水準の変更がなされた日以降の基準日以降の残工事量に対する資材、労務単価等	部分払いを行った出来形部分を除く全ての資材（鋼材類、燃料油類等）
	受発注者の負担	<b>残工事費の1.5%</b>	<b>残工事費の1.0%</b> （29条「天災不可抗力条項」に準拠し、建設業者の経営上最小限度必要な利益まで損なわないよう定められた「1%」を採用。）	<b>対象工事費の1.0%</b> （但し、全体スライド又はインフレスライドと併用の場合、全体スライド又はインフレスライド適用期間における負担はなし）
	再スライド	可能（全体スライド又はインフレスライド適用後、12ヶ月経過後に適用可能）	可能（本通達に基づき、賃金水準の変更がなされる都度、適用可能）	なし（部分払いを行った出来形部分を除いた工期内全ての資材を対象に、精算変更契約後にスライド額を算出するため、再スライドの必要がない）

出典：インフレスライド条項運用マニュアル（国土交通省）

採用

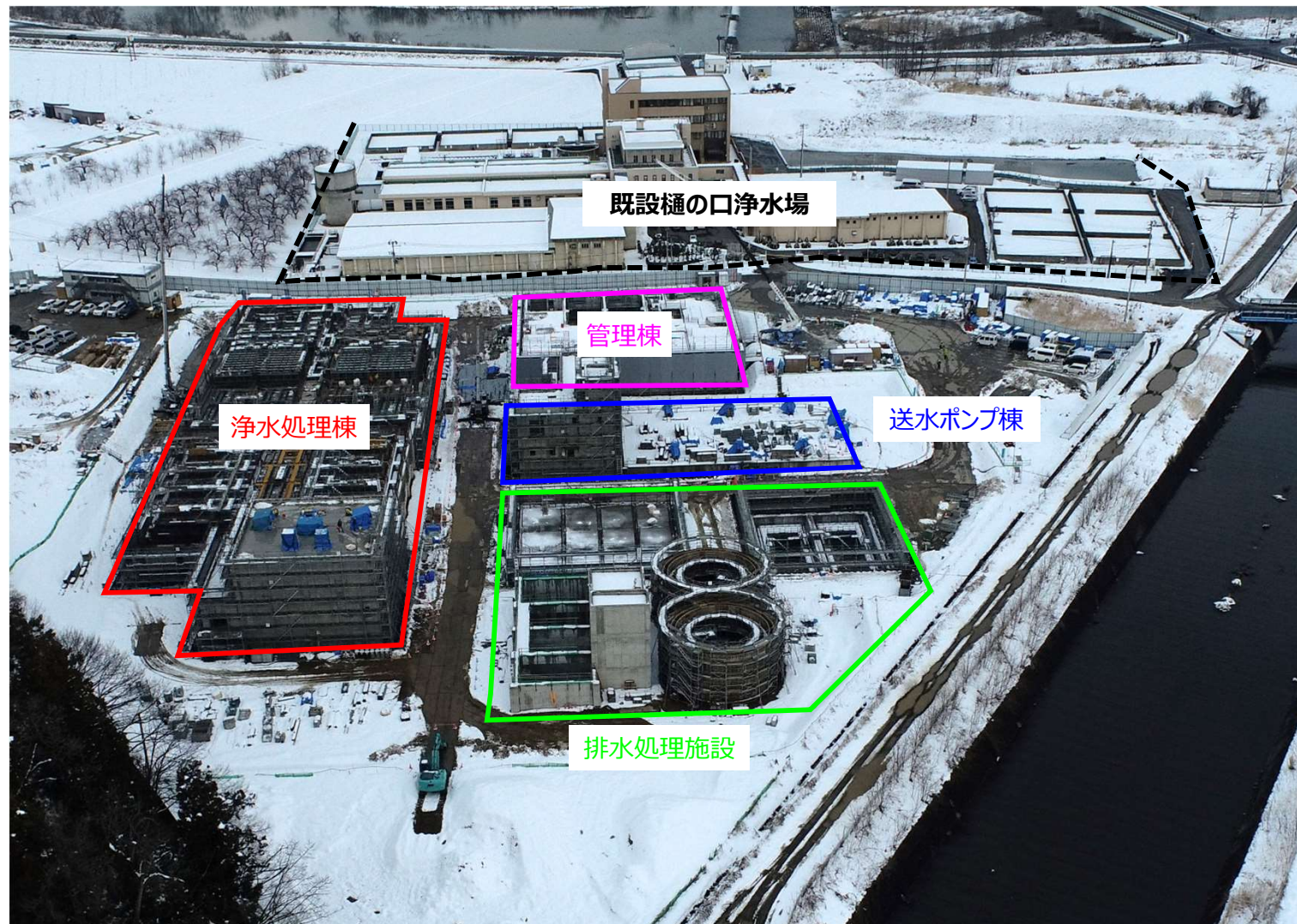
当初117億7千万円 + 第1回スライド増額 約9.9億円 + 第2回スライド増額 約3.2億  
= 変更請負額 約130億8千万円

# 現在の状況（新樋の口浄水場）





# 現場状況写真①（新樋の口浄水場）





## (参考) 新樋の口浄水場完成予想図



※イメージ図のため実際とは異なる場合があります



# 施工状況写真②（新樋の口浄水場）

脱水機棟 施工状況



送水ポンプ棟内 機械基礎施工状況



## ※進捗状況について

労務不足等の影響により、令和6年3月末時点で約7%の遅れ。  
施工順序等の工程調整を行い、令和7年度の試運転や令和8年度の供用開始時期に遅れは生じない予定。